



政策研究会  
清水 宏  
議員

### ▼市債、基金、合併特例債の各残高について

○ 市財政概況把握のため、①市債(借金)、②基金、③合併特例債の現在残高は幾らか。

○ ①二十二年年度末で約百八十九億円。②三月補正予算計上分を加味した二十二年年度末見込み残高で約七十億円。③二十三年年度以降の借入可能額は約八十七億円と見込んでいる。

### ▼少子高齢化について

○ 人口、財政、社会生活等、どのような状況が予測されるのか。

○ 保健・医療、福祉政策に対するニーズは質、量ともに高まり、サービスを受ける側の負担も増大する可能性は高い。行政面では、高齢者の健康管理や経済的自立に対する支援、保健・医療、福祉政策等の充実、生きがいのある生活の確保など多くの対応が求められる。また、人口減少に伴う経済のバイの減少が予測されることから、コンパクトシティといわれる効率的な地域づくりが必要だと思ふ。六十五歳以上の高齢

化率は、平成三十年の推計値は三十五・一％である。

○ どのような「幸福観」が適切と考えられるのか。

○ 少子・高齢化とともに、価値観の多様化も同時に進行しており、市民から多様な価値観に基づく負託を受け市政を担っていると認識している。ある「幸福観」を持つて政治を行うよりも、市民の多様な価値観を尊重し諸施策を実施することで、よりよい島原市づくりを実現させていくことがあべき方向性だと考える。

### ▼新市庁舎建設について

○ 現在の進捗状況と見通しはどうか。

○ 市庁舎整備懇話会を設置し、昨年八月に提言をいただいた。議会でも市庁舎建設特別委員会が設置され、位置、規模などについて論議いただいている。二十三年度には、懇話会の提言や議会の意見を十分尊重しながら、基本構想を作成していきたい。

#### 【その他の質問項目】

- ◇ 市政のかじを大型重厚路線から庶民生活重視路線へ切りかえるときでは
- ◇ 連続大型計画への不安、不満と市民への情報公開



平成会  
濱崎 清志  
議員

### ▼施政方針について

○ 施政方針の中に「市民の健康増進と生涯にわたってスポーツに親しめる社会づくりを目指します」とあるが、県下一周駅伝のときには、応援を呼びかける放送もなかったことから、沿道の応援も少なかった。今後スポーツ大会の広報はどうするのか。

○ 確かに島原市独自の広報等は積極的に行っていない。今後は防災無線を積極的に活用し、応援をしていただくことは大事だと思っている。

○ 生活保護者の世帯数はどうか。また、

生活保護受給者の費用を抑制するため、ジエネリック医薬品の利用促進に関する方針が厚生労働省より出ていると聞いているが、どのようなになっているのか。

○ 世帯数については、二十三年一月現在で三百五十三世帯である。ジエネリック医薬品の利用促進と生活保護者への周知について、二十年四月三十日付で厚生労働省から通知が出されている。当市においても利用促進のためのパンフレットを配付するなど、さらに周知に努めていきたい。

○ 現在の有明地区の歩道の整備率と、今後の計画はどうなっているのか。

○ 栗谷川から九州毛織本社前までの延長二千二百七十五メートルのうち、栗谷川から湯江川までの延長四百七十五メートルの区間については十九年度で整備が完了し、大野浜バス停付近から九州毛織本社前までの延長千八百メートルの区間については二十二年年度で事業完了の予定である。また、整備率は約八十二％である。今後の整備計画については、九州毛織本社前から半田交差点までの約四百メートルを二十三年度から二十七年で整備する予定である。

### ▼国民健康保険事業の取り組みについて

○ 職員の中に医療事務の有資格者はいるのか。

○ 職員の中に医療事務の資格を持っている者はいないが、精通した非常勤職員二名を配置し、業務に当たらせている。総レセプト数のうち見直し案件は約一％で、改善額で約二千万円の効果を上げている。

#### 【その他の質問項目】

- ◇ 行財政改革について
- ◇ 東京学生寮について